

耕作放棄地の再生「あきた農業体験施設」

体験農園の趣旨

1. 開設の目的

都市近郊の耕作放棄地を再生し、農地環境の改善と都市住民の農業に対する理解を得るため、学童等を対象に農業体験を通じた食育やコミュニケーション活動による地域住民参加型の体験農園を開設する。

2. 農園の位置

秋田市仁井田字小中島の耕作放棄地 A=2,055㎡

3. 開設者

秋田県土地改良事業団体連合会

4. 管理・運営

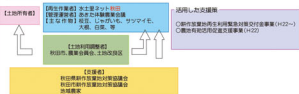
地域住民の参加（公募会員 35名）で、共同作業による農業体験を基本に農作物を栽培し、参加者の地産地消と、学校教育、各種団体が開催するイベント等への収穫物提供と情報交換等を行う。

水土里ネット秋田による取り組み

概要

解消主体名:	水土里ネット秋田	地区名:	仁井田
解消面積:	約20a	取組年次:	H22～
解消内容:	地域住民を対象にした農作物の栽培	導入作物:	枝豆、じゃがいも、サツマイモ、大根、白菜、等

取組体制



解消状況

再生前



耕地放棄地（再生作業前）

再生作業



再生作業（草刈り）

再生作業



再生作業（砕土・整地）

再生作業



再生作業（土壌改良材散布）

再生後



共同作業による植え付け

再生後



小学生のジャガイモ掘り

取組状況



8月16日 体験農園設立会議



5月17日 農園再生作業



5月17日 作業終了後に笑顔で1枚!!



8月3日 じゃがいも掘り体験



8月3日 みどり町内会の参加者



9月1日 えだ豆収穫作業



10月16日 さつまいも収穫体験



10月16日 さつまいも収穫体験